

【産学連携の実態と展望】 東京大学TLOの経験

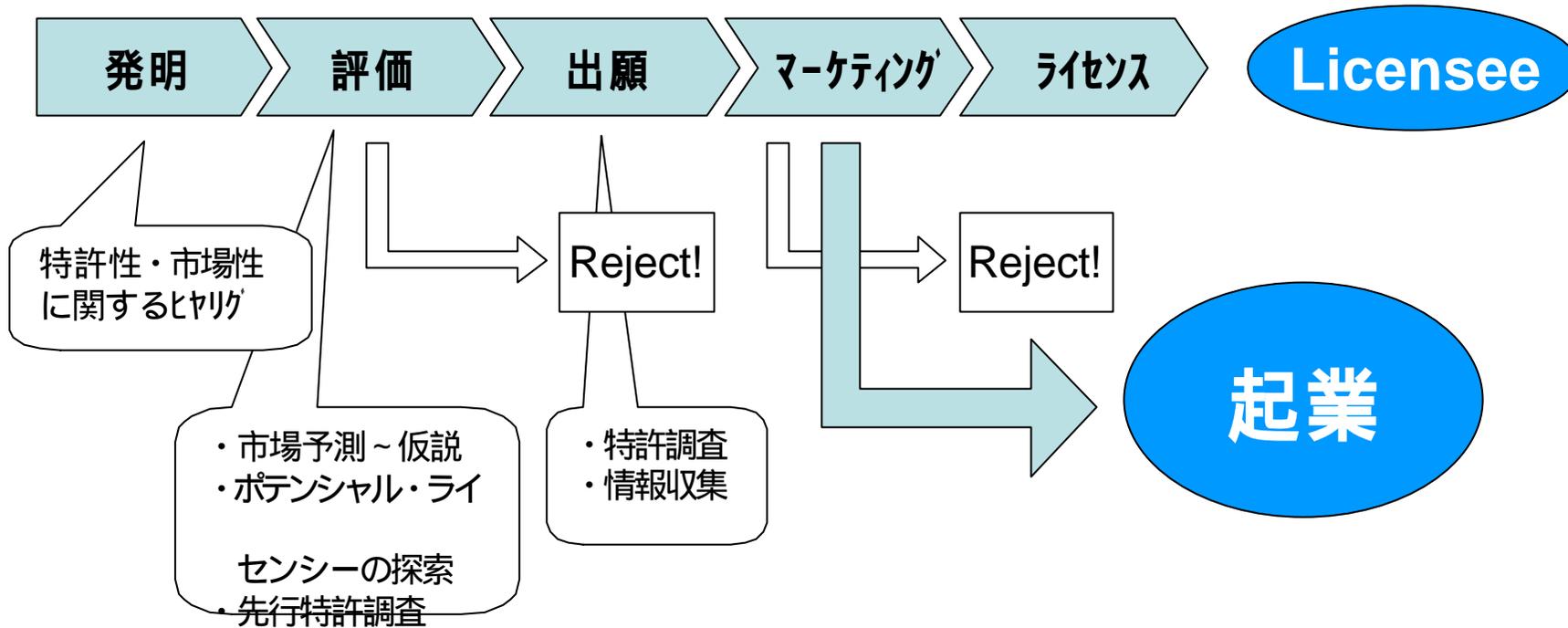
株式会社 先端科学技術インキュベーションセンター (CASTI)

代表取締役社長 兼 CEO 山本 貴史

HP: www.casti.co.jp

e-mail : yamamoto@casti.co.jp

大学の技術Seedsの商業ライズプロセス



技術移転のプロセスの過程で既存企業へのライセンスと起業の分岐点があり
技術の商業ライズという観点では同質のものである。

CASE 2 : 大学発ベンチャー レーザック 影山先生

東大工学部
影山研究室

研究成果



▼ ライセンス

▼ 投資



大手企業
研究機関
施行企業

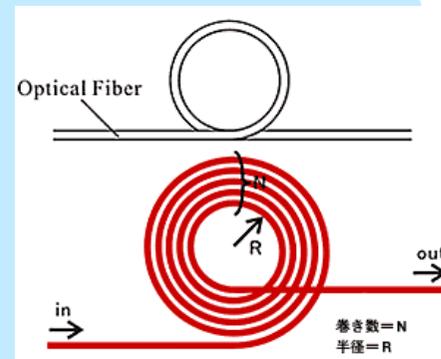
アライアンス



共同研究

LAZOC

センサー技術 検出技術
施行(管理)技術
解析技術 メンテナンス技術
リモート監視技術



エンドユーザー

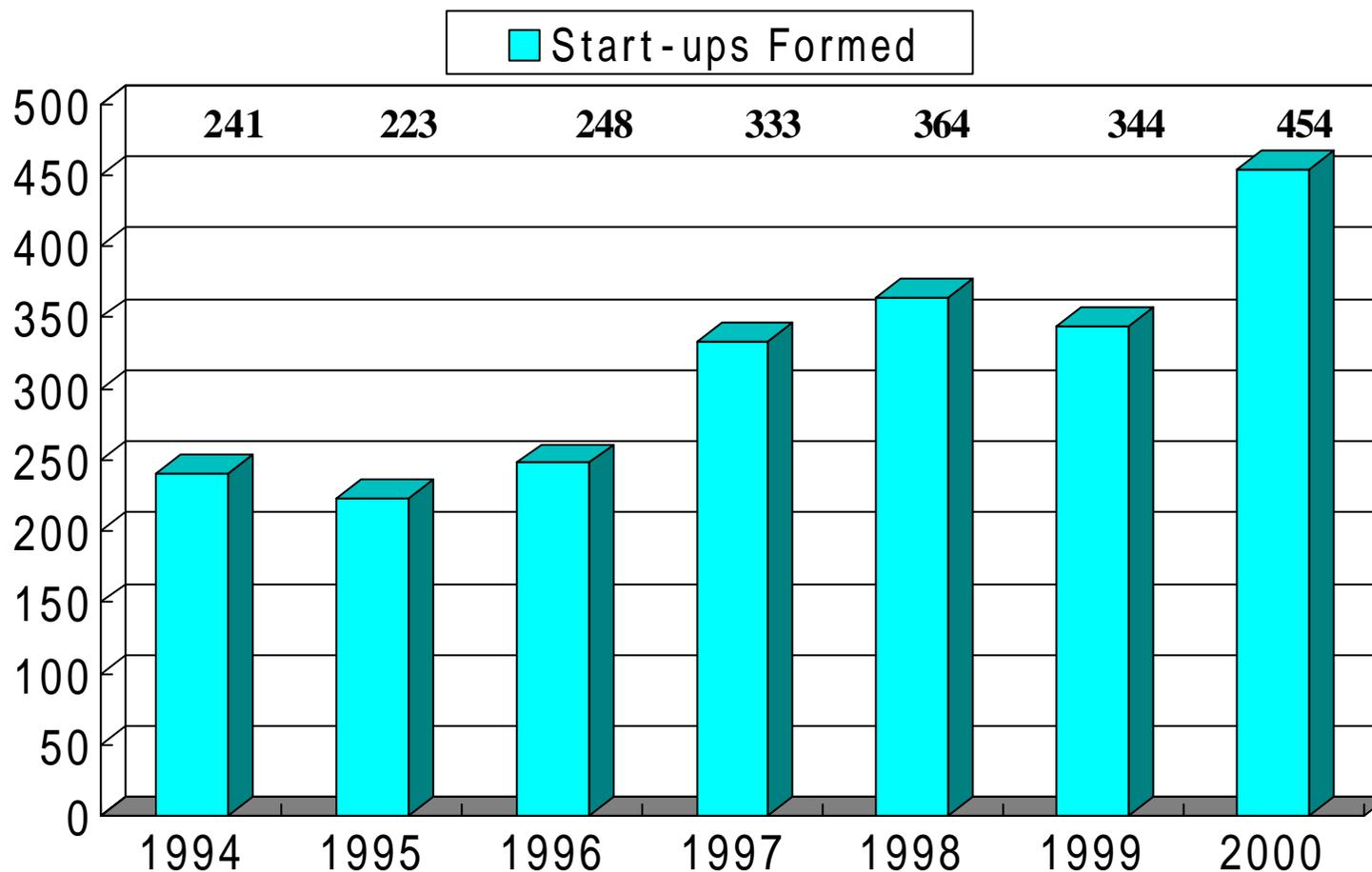
CASTIのアクティビティ

- 約600件の特許を出願
- 年間300件を超える発明開示(スタンフォード大学が290件)
- ライセンス契約は約100件を超える
- 2000年から黒字化し、三年連続黒字
- 延べ1200名を超える研究者が利用
- 全ての学部の案件を取り扱うTLO

米国における大学発ベンチャー起業推移

AUTM調べ

1980年～2000年で3376社のベンチャーが起業し2000社以上がalive

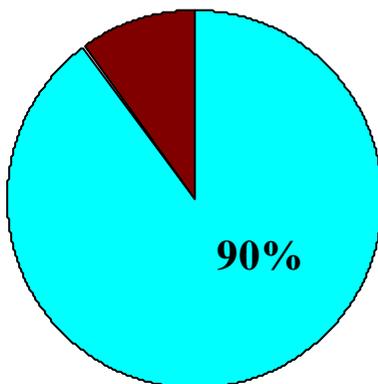


米国における企業規模別ライセンス形態

AUTM調べ

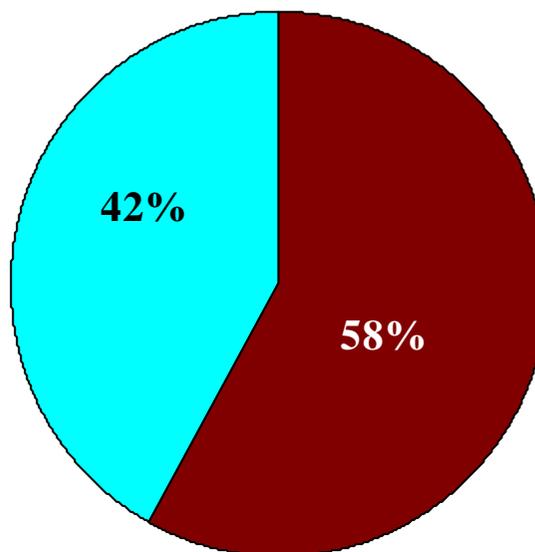
Start-ups

90% of 618
are Exclusive



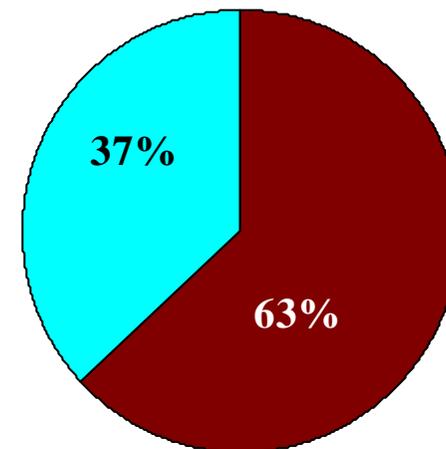
Small Companies

42% of 2,002
are Exclusive



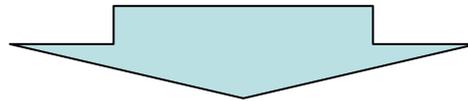
Large Companies

37% of 1,346
are Exclusive



大学からベンチャーを創出するために

- 研究Seedsのコマーシャライズに常に関わるTLOとキャンパス・インキュベーションとの連携はベンチャー創出の基礎的なインフラである。
- 長期的視点において文理融合型人材の育成がKeyである。
- 人材交流（産業界とアカデミア、大学間、国際間・・・）のカオスから新しい事業は生まれる。
- 大学の中にスターバックスを！（日常的コミュニケーションの中にスパーランチの光景を！）
- 本質的なSeed Capitalが求められる時代。



グローバルアイのハイテクベンチャー創出